

# 一 般 質 問

議席番号	6	議員氏名	本 間 政 道
項目・要旨	1. グリーンベルトの周知・活用について		
	<p data-bbox="264 371 1463 454">現在、寄居町では主に歩道のない通学路にグリーンベルトという緑色のラインを道路の端に引き、その外側を歩くように指導しているようです。</p> <p data-bbox="264 472 1463 555">確かに意識をして道路を見ると見かけることがありますが、何人かの方に聞いたのですが、あまり認知されていないようです。</p> <p data-bbox="300 573 1302 611">ドライバーの方々にもどれくらい認知されているか心配しております。</p> <p data-bbox="264 629 1463 817">また、地元桜沢の本村区にある町道のグリーンベルトを見に行ったのですが、車の交通量が多く、やはり幅が大変狭く、側溝のふたの上を歩くようになってしまいます。ですから、傘などをさして登下校する場合は当然はみ出して歩くようになります。</p> <p data-bbox="300 835 1398 873">ラインだけですから道路に段差もなく車や自転車なども通行してしまいます。</p> <p data-bbox="264 891 1463 974">より安全性を考慮し、ドライバーに意識させる為にグリーンベルトとラバーポールを併用している自治体もあるようです。</p> <p data-bbox="300 992 533 1030">そこで伺います。</p> <p data-bbox="284 1048 1139 1086">(1) 今まで行った、グリーンベルトの周知方法を伺います。</p> <p data-bbox="284 1104 1430 1142">(2) 今後、住民等に周知するため、どのような施策のお考えがあるか伺います。</p> <p data-bbox="284 1160 1235 1198">(3) グリーンベルトはいずれ歩道にする予定があるのか伺います。</p> <p data-bbox="284 1216 1463 1299">(4) グリーンベルトの道路で特に危険とみられる場所の境に、ラバーポールなどのドライバーに注意を促すようなものを設置する考えがあるのか伺います。</p> <p data-bbox="284 1317 1463 1503">(5) 近年住宅も増え通学路にも使われていると思いますが、寄居町役場から岩崎へ向かう通称体育館通りは歩道も無く道幅もさほど広くないのです。しかし、多くの方が自転車や歩きでも利用しています。このような道路にグリーンベルトを設置できるのか伺います。</p>		
2. 令和5年度デジタル化事業実績の進捗状況について	<p data-bbox="264 1603 1463 1792">寄居町では住民サービスの向上の為にデジタル化事業として、デジタル観光ツール（アプリ）の導入、駅前拠点施設公衆W i — F i 整備、空き家の利活用促進システム、デジタル観光ツール（VR）の導入及び施設予約システムの導入と多くの事業をされております。</p> <p data-bbox="264 1809 1463 1892">年度途中ではありますが、残り3ヵ月あまりの現在の進捗状況はどの程度進んでいるのか、また難しい点などがあるのか、伺います。</p> <p data-bbox="284 1910 1463 1993">(1) デジタル観光ツール（VR）（アプリ）の進捗状況はどの程度進んでいるのか伺います。</p> <p data-bbox="284 2011 1463 2094">(2) デジタル観光ツール（VR）（アプリ）を住民や観光客への告知や宣伝等をどのようにするのか伺います。</p>		

- (3) デジタル観光ツール（VR）（アプリ）利用者の目標数と事業の評価基準があるのか伺います。
- (4) 駅前拠点施設公衆Wi-Fiの整備の進捗状況はどの程度進んでいるのか伺います。
- (5) 駅前拠点施設公衆Wi-Fiの整備を住民や観光客への告知や宣伝等をどのようにするのか伺います。
- (6) 駅前拠点施設公衆Wi-Fiの整備利用者の目標数と事業の評価基準があるのか伺います。
- (7) 空き家の利活用促進システムの進捗状況はどの程度進んでいるのか伺います。
- (8) 空き家の利活用促進システム利用実績の目標値などがあるのか伺います。
- (9) 施設予約システムの導入の進捗状況はどの程度進んでいるのか伺います。
- (10) 現在は書類による予約で施設を使用していると思うのですが、施設予約システムを導入する告知や宣伝をどのようにするのか伺います。
- (11) 施設予約システムの導入により住民が施設予約システムを利用するための説明会や資料等の配布を行うのか伺います。

議席番号	4	議員氏名	津久井大雄
項目・要旨	1. 町所有の遊休土地の有り方について		
	<p>町の第6次総合振興計画後期基本計画の基本施策にもある「自然環境の保護」にも、現状および課題として「近年、手入れが十分でない森林が増えて、多様な動植物が生息生育する豊かな自然環境とともに、カーボンニュートラルの観点から森林の多面的な機能を計画的に保全していくことが必要です」と課題に記しています。</p> <p>5年後の目指すべき姿として、水の郷、緑豊かな美しい山並みに抱かれた町のイメージが広く知られており、自然を親しむ体験を通じて、町民が地域への愛着を感じ、多くの来訪者が「また来たい」と感じ何度も訪れる町になっています。森林・里山・農地・河川などが織りなす自然環境が健全な状態で保全されていますと記しています。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>(1) 過去にも同僚議員の質問にもありましたが、鐘撞堂山西側の山林の町有地ですが、保有している面積を伺います。</p> <p>(2) 寄居町でその町有地を今後どのように有効利用したいのか。また計画等があるのか伺います。</p>		
	2. 避難所の仮設トイレについて		
	<p>日本各地で地震や台風等で様々な大規模な災害が発生しています。大規模災害が起こると避難所に並ぶ仮設トイレは「汚い」「暗い」「くさい」の「3K」トイレとも言われています</p> <p>東京都が作成しました避難生活のシナリオのトイレ問題では、発生から1日後で衛生環境が悪化し汲み取りトイレはバキュームカー不足で使用困難となり、3日後で非常用電源の燃料がなくなると水洗トイレも使用困難になり1週間後にはノロウイルス等の感染症が蔓延する可能性があるそうです。食べ物が届いてもトイレが使えないと排泄への懸念から食べるのも我慢し体力の低下にもつながります。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>(1) YORIBA等には、防災井戸やマンホールトイレなど防災機能を備えていますが内閣府によると、災害時のトイレは各市町村が確保や管理の取り組みを進めるべきとあります。災害時に町で十分なトイレを調達できるか伺います。</p> <p>(2) トイレは男性よりも女性の方が使用率も高いと思います。また障害者やご高齢の方に配慮したトイレが準備できるか伺います。</p>		
	3. 寄居駅周辺及び街灯について		
<p>Yottecó・YORIBAも先月の秋祭りやふるさと祭典市等で賑わい、寄居町に活性化がでて以前より来訪者が増えていると思います。子どもからご高齢の方まで老若男女の皆様立ち寄りいただきたいと思います。</p>			

そこで伺います。

- (1) Y o t t e c oがオープンして半年が過ぎますが、各月の来場者及び月平均の人数を伺います。
- (2) 駅前広場周辺の夏場の雑草の処理のあり方についてどのような考えがあるか伺います。
- (3) 市街地地区もお店が廃業したり、空き家が増えた影響で以前からある商工会等の協力の街灯が無くなり、市街地通りも夜になると危険も伴います。4月の統一地方選の時も選挙カーで巡回しましたが、近隣の市町村に比べて寄居町全体で街灯が少ないと思います。今後町で、街灯等をL E D化して増やす計画があるか伺います。

議席番号	3	議員氏名	吉 田 林 藏
項目・要旨	1. 氏邦陣太鼓について		
	<p data-bbox="264 286 1460 427">室町時代の後期、長尾氏が築城し、後に北条氏の支配となった伝統ある鉢形城。現在は、北條まつりとして再現しており、寄居駅前から勇壮な軍団が勢ぞろいし玉淀河原まで進軍し太鼓が響き、豊臣軍と北条軍との合戦が見せ場となっております。</p> <p data-bbox="264 443 1460 792">しかし、残念なことに町おこしとしての氏邦陣太鼓がありません。やはり、地元の伝統ある祭りであり、本来の太鼓たたきが必要であり、町の有志や小中学校の希望者で組織し魅力を高め、郷土愛形式にも寄与し、また、体験したい人にも参加してもらうことで地域活性化にもつなげる可能性があると考えます。今後、少子高齢化などの影響を受け、担い手確保が難しく、存続は厳しく思えます。そして、様々な人達が広く活動を担う必要があります。参加しやすい環境づくりが必要と考えますがどう取り組むか伺います。</p> <p data-bbox="284 808 1460 898">(1) 現在、北條まつりでの太鼓をたたいている団体はどのような経緯でお願いしているのか伺います。</p> <p data-bbox="284 913 1460 958">(2) 鉢形城家老本郷越前守伝承ののろし太鼓があることをご存じなのか伺います。</p> <p data-bbox="284 974 1460 1064">(3) 氏邦陣太鼓をつくり、それを伝承するための体制づくりは可能なのか伺います。</p> <p data-bbox="284 1079 1460 1124">(4) 氏邦陣太鼓をつくり、それを継承していくうえでの課題はあるか伺います。</p>		
	2. 町道管理整備について		
	<p data-bbox="300 1209 1177 1243">来年度予算要望としての提言を議会より町長に提出しました。</p> <p data-bbox="264 1258 1460 1400">9月議会で、町道において車が破損する事故があり、損害補償金が支払われています。町道は町民の生活道であり、また生徒の通学路にも位置付けられています。高齢化が進む中でデコボコの道が目立ち歩行においては危険が伴います。</p> <p data-bbox="264 1415 1460 1505">しかし、行政の立場からでは大変な管理、改修予算がかかると思いますが安全安心で暮らせる地域、町づくりには必要不可欠な課題であると考え伺います。</p> <p data-bbox="284 1520 1300 1565">(1) 広範囲で距離のある町道管理はどの様に行われているか伺います。</p> <p data-bbox="284 1581 1268 1626">(2) 各行政区からの要望は1年でどのくらいの数があるか伺います。</p> <p data-bbox="284 1641 1460 1731">(3) 各行政区の道路委員からの、情報・要望はどのような形で町に届いているか伺います。</p> <p data-bbox="284 1747 1460 1836">(4) 将来DXが推進されると情報・要望手段が改革されることが予想されますが、現在は、どのような対応が可能となるか伺います。</p>		

### 3. eスポーツの普及について

9月議会において質問させていただきましたが、eスポーツは、世代を超えた交流ゲームであります。そして健康の維持・増進と予防など効果が強調されています。これからは、いわゆるシニア世代の参加と活躍が期待されているeスポーツゲーム公共施設を利用し町においても普及するべきと考えます。eスポーツは、スマートフォンやパソコン・タブレット等を利用すると、普及しやすいと考えますが町の見解を伺います。

### 4. 小中学校における不登校児童・生徒について

全国でもいじめによる不登校児童・生徒の問題が山積みになっています。町として不登校児童・生徒を抱える保護者の不安軽減や不登校支援の現状を伺います。

(1) 町の不登校児童・生徒数について伺います。

(2) 不登校児童・生徒に対する相談体制はどのようになっているのか、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを配置しているのか伺います。

議席番号	2	議員氏名	浅見 玲子
項目・要旨	1. 男女共同参画の推進について		
	<p data-bbox="261 286 1465 582">第6次寄居町総合振興計画後期基本計画は、来年度後期の3年目を迎えます。基本目標1「夢と創造力にあふれ未来を拓く人を育むまち」として「一人ひとりを尊重する地域づくり」が基本方針の柱のひとつとなっています。「①人権尊重と相互理解の促進②男女共同参画の推進」を基本施策としており、②の「男女共同参画の推進」については、「各種審議会などへの女性参画率」「町役場の女性管理職の登用率」「町役場の男性の育児休暇取得率」を評価の指標としています。</p> <p data-bbox="293 600 529 636">そこで伺います。</p> <p data-bbox="284 654 1465 792">(1) 令和4年度の実績では、「各種審議会などへの女性参画率」は、目標値30%に対して15.2%でした。今後どのように引き上げようとお考えなのか伺います。</p> <p data-bbox="284 810 1465 949">(2) 「町役場の女性管理職の登用率」について目標値30%に対し20%でした。  ①そもそも目標値が低いとは思わないのか伺います。  ②今後どのように引き上げようとお考えなのか伺います。</p> <p data-bbox="284 967 1465 1160">(3) 町役場の男性の育児休暇取得率では目標62.5%に対し、80%達成となっています。  ①1人当たり、何日くらい取得されたのか伺います。  ②男性に限らず、育児休業に際して、代替職員の配置などがあるのか伺います。</p>		
	2. 人づくりの推進について		
	<p data-bbox="261 1312 1465 1451">同じく第6次寄居町総合振興計画後期基本計画の中の重点的な取り組みのテーマとして、テーマ1「暮らしの充実」「働きやすいまちづくり」、テーマ2「人づくりの推進」「多様な人材が活躍するまちづくり」を掲げています。</p> <p data-bbox="261 1469 1465 1711">近年、非正規労働者の働き方や貧困が社会問題になっており、自治体における会計年度職員は官製ワーキングプアとも呼ばれます。町は率先して働きやすい職場づくり、多様な人材が活躍する職場づくりに努めるべきかと思いますが、寄居町役場における会計年度任用職員の場合、次年度への採用の不安や正採用との賃金の差などにより安心して働けない状況にあるのではないかと思います。そこで伺います。</p> <p data-bbox="284 1729 1465 1818">(1) 会計年度任用職員について令和2年度からの数と全職員に対する割合の変化はどうなっているのか伺います。</p> <p data-bbox="284 1836 1270 1872">(2) 会計年度任用職員の男女の割合はどうなっているのか伺います。</p> <p data-bbox="284 1890 1366 1926">(3) 会計年度任用職員から正規職員に移行するケースはあるのか伺います。</p>		

### 3. 荒川の観光、漁業等について

町公式ホームページの都市計画課のページには、埼玉県からの「寄居都市計画」の変更案が出されています。その中に、第3主要な都市計画の決定の自然的環境の整備又は保全に関する都市計画の決定の方針（1）基本方針では、「本区域は、中心部を荒川が流れ、県立長瀬玉淀自然公園の山林などの優れた自然環境を有している。埼玉県広域緑地計画を踏まえ、埼玉の緑を守り育て、将来にわたって県民が緑の恩恵を享受できるよう、埼玉の多彩な緑が織りなすネットワークを形成する。また、自然環境の保全を図るとともに、防災の機能、環境負荷低減の機能、景観形成の機能、ふれあい提供の機能を確保する。」という記述があり、荒川が都市計画の重要な肝となっていることが伺えます。

一方、観光振興の一つとしてプロモーション戦略課が荒川を観光の拠点として位置付けています。アユ釣りやキャンプなどはプロモーション戦略課が関わってくると思われます。

さらに、漁業としては、産業振興企業誘致課が関わってくると思われます。残念ながら、ホームページの産業振興企業誘致課の業務内容に「漁業」が入っていませんが、現在も漁業協同組合に入っておられる方はいらっしゃいます。

近年荒川については、アユ・ウグイの数が激減しているとのこと。放流を行って対策をしているようですが、おとりアユの販売店が高齢化等により、激減してしまっていることもあり、観光・資源として荒川を活かすことについて、緊急を要する課題となっています。

荒川について、埼玉県として都市計画の軸としてとらえていることから、寄居町としてそれぞれの課が共同して「都市計画」「観光」「産業」について話し合う必要があるのではないかと思います。そこで伺います。

- (1) 「都市計画」「観光」「産業」それぞれの現在の荒川についての認識を伺います。
- (2) 今後の荒川の在り方について、3つの課に漁業協同組合やまちづくり会社等、町民を加えてのプロジェクトチームを立ち上げられないか伺います。

### 4. 高齢者福祉について

9月定例会の一般質問で、私と先輩議員が補聴器の購入費助成について質問したところ、先進自治体の調査・研究をすることでした。そこで、伺います。

- (1) 現在の調査・研究状況はどうなっているのか伺います。
- (2) 高齢者から、補聴器以外にも杖や自転車のヘルメットなどへの購入助成があるとうれしいという声が聞かれます。たとえば、補聴器と合わせて単年度で3つのなかのどれか一つについて購入補助を受けられるしくみをつくることはできないか伺います。



議席番号	8	議員氏名	権 田 孝 史
項目・要旨	1. 公共施設及び駅ロータリーの緑地帯管理について		
	<p data-bbox="264 286 1460 685">寄居駅南口駅前拠点整備事業が終わり、4月29日にはオープンセレモニーが開催され、市街地地区等の山車の参加で華やかに終わることができました。多くの住民の方々から「寄居駅南口の道路が広くなり、明るく綺麗になったね」という声が聞かれ、思いが叶って良かったと思えました。そして6月24日には、私も見学に行きましたが、ホンダのF1マシンの展示会が開催され、大変な盛況ぶりでした。また、他にも様々な目的で利用されているようです。私も、役場に用事がある時にはなるべく寄居駅前、中央通り線の周辺や道路状況の様子を確認しながら通行するようところがけております。</p> <p data-bbox="264 703 1460 947">そんな折、私の地元・男衾地域で複数の方々より次のような声をいただきました。「駅前道路は大変良くなったが、イベントの開催であれば、その前に草刈りや除草作業を行い、来場者へ歓迎の気持ちを示してほしかった。道路もY o t t e c oも整備したばかりで、美しいのに、非常にもったいない」という厳しいご意見でした。私も当日、同様の感想を抱いたひとりでした。</p> <p data-bbox="284 965 884 999">(1) 公共施設の緑地帯について伺います。</p> <p data-bbox="328 1016 1449 1104">①各施設の除草作業は、担当課がどのタイミングで決定し、どんな時期に年間には、何回ほど実施が予定されているのか伺います。</p> <p data-bbox="328 1122 1449 1209">②町主催でのイベント開催時には会場周辺の現地確認はされているのか伺います。</p> <p data-bbox="328 1227 1362 1261">③各施設及び学校等の植栽剪定は定期的に計画されているのか伺います。</p> <p data-bbox="328 1279 1430 1312">④各施設の年の除草等の予算はどの位の金額が計上されているのか伺います。</p> <p data-bbox="284 1330 948 1364">(2) 駅ロータリーの緑地帯について伺います。</p> <p data-bbox="328 1382 1449 1469">①寄居駅・男衾駅ロータリー内の除草作業はどの様な管理で計画されているのか伺います。</p> <p data-bbox="328 1487 1430 1520">②植栽された物が枯れた後のフォローはどの様な対応しているのか伺います。</p> <p data-bbox="328 1538 1449 1626">③寄居駅・男衾駅ロータリーの除草予算金額はどの位の計上されているのか伺います。</p>		
2. 寄居町民マラソン大会について			
<p data-bbox="264 1780 1460 1973">近年、多くの方が健康を考え若い人からお年寄りまで、散歩やジョギングをしている姿を多く目にします。散歩やジョギングは自分のペースで好きな時間で自身の体力に合った距離で行えます。市や町を挙げてのイベントとしてマラソン大会を実施している自治体は非常に多いようです。</p> <p data-bbox="264 1991 1449 2024">中には、ランナーがキャラクターや恐竜などに仮装し、沿道の応援者達を楽しませ</p>			

ているというニュースも目にすることがあります。また、決まった人数でチームをつくり皆さんの気持ちが一つの襷に託すのは大きな意味があると思いますが、近隣では、「ふかやシティハーフマラソン」・「小川和紙マラソン大会」が盛大に開催されています。

寄居町で実施している駅伝は、参加者が限定されています。幅広い参加者を募り、自身のペースでランニングを楽しんでいただくためにも、「いくつかの距離やコースを設定した、個人参加のマラソン大会を」との住民の意見もあり、これらの大会を一例に、調査研究を重ねたうえでマラソン大会を企画してはいかがでしょうか。伺います。

議席番号	10	議員氏名	大澤 博
項目・要旨	1. 国民健康保険について		
	<p data-bbox="264 286 1461 846">日本の公的医療制度では、会社員や公務員とその扶養家族は、協会けんぽ、組合健保、共済組合などの被用者健康保険に加入して医療を受けています。75歳以上の高齢者と65歳から74歳の一定の障害があると認められた方は後期高齢者医療制度に加入しています。国民健康保険は、これらの医療保険の制度に入らない全ての国民のための医療制度です。年金生活者になると多くは国民健康保険に加入します。「誰でもが一度はお世話になる医療保険」であり、国民皆保険を支える制度といえます。国民健康保険の財政運営は、市町村ごとの独立採算で担われてきました。国保料（税）の急激な値上げが起こりだした、昭和55年代（1980年）以降、多くの自治体が国保料（税）の高騰をおさえるため、自治体独自の国保料（税）の減免を行うため、一般会計から国保会計に法定額以上の公費繰り入れる、法定外繰入を行ってきました。</p> <p data-bbox="264 860 1461 1211">平成30年度（2018年度）から、市町村と都道府県の共同運営「国保の都道府県化」に切り替えられ、県が一括で国保財政を管理し、運営に必要な費用を「納付金」として各自治体に割り当てられた額を県に納付します。この制度では、県が納付金を通知する際に各自治体に「標準保険料率」を通知しています。都道府県化により、県は6年を一期とする「国保運営方針」を定め、市町村の国保行政を指導していくことになりました。この方針にもとづいて、赤字解消と格差是正をするため、法定外繰り入れを計画的に削減・解消することを求めています。</p> <p data-bbox="264 1225 1461 1368">法定外繰り入れを無くすことにより、国保料（税）の値上げが行われ、町民の生活へ負担が大きくなり、保険税が払いたくても払えないことにより、保険証が取り上げられ、医療を受けられないことが考えられます。そこで伺います。</p> <p data-bbox="284 1382 1461 1471">(1) 平成30年度（2018年度）から令和4年度（2022年度）の一般会計から国保会計への法定外額繰入額を年度ごとに伺います。</p> <p data-bbox="284 1485 1461 1574">(2) 国が都道府県・市町村の国保財政を採点し、成績が良いと予算を重点配分する「保険者努力支援制度」での採点と予算配分について伺います。</p> <p data-bbox="284 1588 1461 1677">(3) 法定外繰入をなくし赤字解消するため、国保税が値上げされると考えます。どのくらい値上げされるのか伺います。</p> <p data-bbox="284 1691 1461 1892">(4) 国保財政は構造上、他の健保のような保険税に事業主負担ないことから国庫負担が必要で、国保料（税）を下げるため全国知事会は、国保への「1兆円の公費負担増」を提言しています。町も国に「公費負担増」の提言を行うべきと考えますが、町の考えを伺います。</p> <p data-bbox="284 1906 1461 1995">(5) 物価高騰で、年金生活者は苦しい生活を強いられています。国保税の値上げは、生活に追い打ちをかけます。支援施策の考えあるのか伺います。</p>		

(6) 国・県は、国保料（税）の地域格差是正と法定外繰入を無くし赤字解消を求めていると考えますが、どのようなスケジュールを求めているのか伺います。

## 2. 町道整備について

町道は、町民の生活道路として使われ生活に必要な道路です。安全・安心な道路に整備・管理することが必要です。町民からは多くの要望が出されていると考えますが、町民が安全・安心な生活を過ごすために伺います。

(1) 冬は日陰となる急勾配な町道で、降雨・降雪時は凍結しスリップ事故が発生する可能性のある町道は何か所あるのか伺います。

(2) 上記の町道路には、スリップ防止砂・凍結となる等の対策を行っているのか伺います。

(3) 児童・生徒の通学路で横断歩道がなく横断時に交通事故が発生する可能性のある道路へ、横断歩道を設置するのはどのような方法で行うのか伺います。

議席番号	1 2	議員氏名	鈴木 詠子
項目・要旨	1. 子育て世帯への包括的な支援の重要性について		
	<p data-bbox="264 286 1460 533">           本年4月1日に発足したこども家庭庁は、子育てや少子化、児童虐待、いじめなど子どもを取り巻く社会問題に対して本質的な対策を進め解決するために内閣府に設置された組織です。これまで各省庁別に縦割りになりがちだったこども関連施策を内閣直結のものとして省庁が連携して推進するため、こども家庭庁は内閣府の外庁として設置されました。         </p> <p data-bbox="264 548 1460 952">           これらの取り組みと連動して地方自治体の具体的な取り組みを推進するための児童福祉法等の改正も行われ、施行日は令和6年4月1日となっています。子育て支援をめぐる具体的な事業は、それぞれの地域の事情を踏まえた基礎自治体が担っていくこととなります。今回の児童福祉法改正では、新たな事業として、子育て世帯に対する包括的な支援の強化と事業の拡充を定めています。中でも、各自治体に関連が深い項目は「子育て世帯に対する包括的な支援のための体制強化及び支援の拡充」です。そこで来年の4月に向けた準備とその後の展開について当町のお考えを伺います。         </p> <p data-bbox="284 967 1460 1160">           (1) こども家庭庁発足の背景には深刻な少子化問題があります。合計特殊出生率は、一人の女性が生涯に産む子どもの数を示す数値で、人口が増えるか減るかの境目は2.07と言われます。当町の合計特殊出生率と出生数の近年の推移について伺います。         </p> <p data-bbox="284 1176 1460 1680">           (2) 改正児童福祉法では、子ども家庭総合支援拠点の「児童福祉」と子育て世代包括支援センターの「母子保健」とを一体とした「こども家庭センター」の設置が求められています。この相談機関では縦割りを解消して、妊娠届から妊娠産婦支援、子育てや子どもに関する相談を受けて支援をつなぐためのマネジメント、サポートプランの作成等を担うとされています。当町でも子育て世代包括支援センター「すくすくテラス」を中心に相談窓口のワンストップ化を図り、きめ細やかな支援を継続していることは認識しておりますが、改正児童福祉法の考え方に基づく「こども家庭センター」の設置について、当町でのこれまでの実績を生かし発展させながら、組織的な再編成についてはどのようにお考えか、伺います。         </p> <p data-bbox="284 1695 1460 2045">           (3) 改正児童福祉法では、「こども家庭センター」の設置と並んで「家庭支援事業」の新設が謳われています。産後は、心身の負担の大きさと一気に押し寄せてくる家事育児の負担に押しつぶされて、愛着形成がスムーズにできず、産後うつとなったり、母親自らが虐待に走ったりしてしまうケースも少なくありません。産後の母親に対する訪問型の支援は母子保健分野の事業の「産後ケア」のなかで、保健師、助産師等が訪問して相談支援する「アウトリーチ」が既に事業化されています。しかし、「産後ケア」は保健事業であるために、家事育児に関する直接支援         </p>		

は含まれません。専門的な相談指導は極めて重要ですが、家事・育児の負担を抱え、疲弊している母親や家庭のニーズに全て応えることは非常に困難ではないかと考えます。

- ①当町での母親の産後うつ、及び、母親による虐待の現状について伺います。
- ②専門的な訓練を受け民間資格を有する「産後ドゥーラ」は、産後うつ等が懸念される母親の悩みを傾聴する傍ら、家事も育児も支援することができる直接的な支援として大きく注目されています。当町での実施について伺います。
- ③新設される子育て世帯訪問支援事業は、要支援児童、要保護児童及びその保護者や特定妊婦を対象とする他、ヤングケアラーを抱えた家庭なども加え、事業の広がりを持たせています。当町のヤングケアラーの支援の現状について伺います。
- ④改正児童福祉法では、児童発達支援センターが地域における障害児支援の中核的役割を担い障害種別に関わらず障害児を支援できるよう児童発達支援の類型（福祉型/医療型）の一元化を行うとあります。当町における対応について伺います。

## 2. 発達障害への理解、及び障害者施策について

(1) 通常学級に在籍する公立小中学校の児童生徒8.8%に、注意欠陥多動性障害（ADHD）など発達障害の可能性があることが令和4年、文部科学省の調査結果において公表されました。平成24年の前回調査から2.3ポイント増え、35人学級なら3人程度いることになり、何らかの困難を抱えた子どもが一定数いる実情は重く受け止めるべきと考えます。教員や保護者に発達障害に対する理解が広がったことで、該当する子どもが増えたとみられ、見過ごされてきた子どもが認知されるようになってきたことは評価できますが、8.8%のうち、約7割の子どもが「特別な教育的支援が必要」と判断されていなかった、また、通常学級に在籍しながら一部の授業を別室で学ぶ「通級指導」を受けている子どもは10.6%にとどまっていたとあり、十分な支援が行き届いていないのではないかと懸念もあります。発達障害への理解も含めた当町の取り組みを伺います。

- ①教育委員会での医療と福祉の情報共有について。
- ②中学校卒業後の進路支援について。
- ③4月2日の「世界自閉症啓発デー」、2日～8日の「発達障害啓発週間」に合わせた理解促進のための展示やブルーライトアップ実施について。

(2) 当町の福祉タクシー助成制度は重度の身体障害者、知的障害者がタクシーを利用した場合、初乗り料金を助成するもので、対象者は、1級、2級または3級の身体障害者手帳を持っている方、マルAまたはAの療育手帳を持っている方とされていますが、近隣市町では介護者も含めた3障害（知的・身体・精神）を対象としているところが多く、さらに自動車燃料（ガソリン）費用との選択制を導入しています。当町でも見直しの考えがあるか伺います。

議席番号	7	議員氏名	保 泉 周 平
項目・要旨	1. 寄居町におけるごみ処理について		
	<p>寄居町では、昭和59年から末野の寄居町環境事業所において、ごみ処理を行ってききましたが、平成14年12月からは、大里広域市町村圏組合にて行っています。</p> <p>国では持続可能な社会づくりの取り組み、国連サミットでは持続可能な開発目標（SDGs）に取り組み、プラスチックごみや食品ロスの削減を推進しているところです。埼玉県でも3Rをごみ処理の基本として位置づけており、熊谷市ではさらに5Rの実現に取り込んでいるとのこと。このような状況の中、当町では一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の改定版が作成されました。基本方針は3点あり、</p> <p style="padding-left: 40px;">Ⅰ：5Rの推進</p> <p style="padding-left: 40px;">Ⅱ：安心安全で環境にやさしいごみ処理の推進</p> <p style="padding-left: 40px;">Ⅲ：住民・事業者が実践し協働しやすいごみ処理体制の構築</p> <p style="text-align: right;">とあります。</p> <p>そこで、ごみ処理の状況を伺います。</p> <p>(1) 可燃ごみ、不燃ごみ、資源物、可燃粗大ごみ、有害ごみ、処理できないごみに分けられますが、大里広域市町村圏組合内の市町（熊谷市、深谷市、寄居町）は統一されているのか伺います。</p> <p>(2) ごみの量は、コロナの影響で可燃ごみが増えたとあります。今後、減らすための対策はあるのか伺います。</p> <p>(3) 経費の削減にもなる、町民と行政の協力する一体感のある家庭からのもっと踏み込んだ分別が必要と考えますが、ごみの分別・出し方は現状で充分と考えているのか、町の考えを伺います。</p> <p>(4) 可燃ごみ、不燃ごみの中間処理施設の老朽化による建設計画を令和4年1月頃伺いましたが、その後の状況を伺います。</p> <p>(5) 現在可燃ごみは熊谷市の江南清掃センター及び深谷市の深谷清掃センターに持ち込み処理していますが、民間委託は考えられないのか伺います。</p>		
	2. 町道1949号線の拡幅改良及び側溝整備の進展について		
<p>寄居スマートインターチェンジが上下線とも開通しました。インター周辺開発も話し合いが徐々に進められているのが耳に入っており、寄居町側から国道254号に抜ける道路の整備も必要に迫ってきていると感じます。従って、平成14年2月に提出された請願採択分「町道1949号線の拡幅改良及び側溝整備」が、現在20年たってもそのままです。そこで、いつになったら動くのか、動いているのか伺います。</p> <p>(1) 前回質問した3年前は美里町との重複認定のため、調整を図る必要があるとお聞きしましたが、その後調整を行ったのか、進展はあったのか伺います。</p>			

- (2) 前回の質問以後、地権者の同意がなされていないとのことでしたので、私が、美里町と寄居町の両サイドの地権者の同意をいただき即提出いたしました。その後の進捗はどうなっているか伺います。
- (3) 当地区（用土）には美里町・深谷市が隣接する道路がありますが、寄居町としては、このように隣接する道路について、美里町や深谷市とどのような協議をすることになっているのか、伺います。



議席番号	9	議員氏名	笠原 則 夫
項目・要旨	1. スズメバチ等害虫の対応について		
	<p>雑木林や住居の軒に巣を作るスズメバチですが、今夏は少雨大暑の影響で各地で猛威を振るっているようでした。また密集した森林や空き家内に巣を作ることもあり、これらには時にその持ち主の自力で解決できない課題があります。そこで伺います。</p> <p>(1) 寄居町では駆除には防護服を貸して頂けるとのことですが、本庄市のように、特殊な場合を除いては職員に巣を駆除して頂くことはできないか伺います。</p> <p>(2) 通学路の歩道脇に巣がある場合は、教育委員会や学校ではどのような対応をしているのか伺います。</p> <p>(3) 何ヶ所か「スズメバチに注意」と書かれた張り紙状のものを見ますが、注意喚起ではなく何故駆除しないのか、考えられる理由をいくつか伺います。</p>		
	2. 赤浜地区保安林の整理について		
	<p>以前伺ったことによると、赤浜地区の保安林は1955年に埼玉県から指定を受けたとのこと。それなりの木を植樹したと考えると、樹齢が70年を超えていると考えられます。その年月を思うと、立ち枯れの大木を見ましたが不思議ではない気がしました。そこで伺います。</p> <p>(1) ここの保安林は「耕作地の防風のため」が指定理由ですが、現在は近くに家や工場も多く建って防風の必要を感じません。また耕作地も継ぐ人が少なくなりつつあり、指定の理由に陰りが見えています。併せて現在は、この地域全体が多く樹木に覆われる状況になり、保安林存続の意味を考え直す時が来ていると思います。これらのことを県と協議したことがあるのか伺います。</p> <p>(2) 保安林は個人の土地でありながら使用も伐採も勝手にできず、一般道に出ている部分がトンネルのようになっているところが見受けられますが、伐採等の責任はどこにあるか伺います。</p> <p>(3) 道路上部に保安林の多くがはみ出ており、時々枯れ枝が落下してきます。安全のために保安林を間引くこと、併せて道路から2メートルほどの部分を県から補助金を受けて町が整理することはできないのか伺います。</p> <p>(4) 保安林に接している会社は、二週間に一度町道の枯れ木を拾っているそうです。町は道路管理者としてどう考えるか伺います。</p> <p>(5) 県内で過去に、保安林の指定が解除された事例がありますか。あれば伺います。</p> <p>(6) 保安林の所有者が年齢や経済的な理由で、県や町から整理する指導を受けてもできない場合はどのようにとり計らうのか伺います。</p> <p>(7) 今年より相続土地国庫帰属制度が始まりました。町内でこの制度を活用された方がいるのか伺います。</p>		

議席番号	1	議員氏名	里見 夕子
項目・要旨	1. デマンド（愛のり）タクシー利便性向上への取り組みについて		
	<p>高齢化が進み更に自動車免許を返納される方も増えデマンド（愛のり）タクシーのサービスが開始された時より交通弱者の方々は確実に増加しています。</p> <p>町としても利便性を高めるためにサービス開始当初より共通乗降場を一段と増やしたり、ネットでも予約が取れるようにしたりと様々な工夫をして頂いておりますが、残念なことに、こうした町の努力が町民の方々特に利用者の方々にちゃんと伝わりきれていないように感じます。</p> <p>更にコロナ禍の影響もあってか登録者及び利用者数も伸び悩んでいるようにも思います。</p> <p>今こそ原点に立ち返り「誰のための公共交通サービスなのか」「誰にとっての利便性向上なのか」今も利用している方々が更に便利に活用できることはもちろんのこと、これまで利用していなかった方々にも便利さが伝わるような取りくみをする事によって登録者・利用者増にもつながりこの公共交通サービスが寄居町に人を呼びこむための武器のひとつになっていくと思います。そこで伺います。</p> <p>(1) 令和3年10月に登録者の方々にアンケート調査を行い、回答では「今のままで良い」が半数、「見直すべき」との意見が3割弱あったと承知していますが、この見直すべきとの3割弱の意見に対して町としてどのように向きあい、どう具体的に取りくんだのか伺います。</p> <p>(2) 町民の声として「共通乗降場に分かりやすいステッカーのようなものを掲示してほしい」また「共通乗降場の一覧表はあるけども字ばかりで読みづらい」「字がこまかすぎて探しづらい」「一目で分かるマップ、例えば地図上に印がついているようなものがほしい」など様々な声を伺っておりますが、こういった声は町にしっかり届いているのか伺います。</p> <p>(3) これまで何度も諸先輩議員の方々がデマンド（愛のり）タクシー事業の拡大として、なんとか町外に出られるようにと要望されております。予算の面、関係各所との兼ねあいもあり、現段階では難しい事も十分承知しております。であるならば今あるサービスの中で最大限に有効活用した代替案の情報発信をし、町が町民の声に寄り添い努力している姿を示すべきだと思っておりますが、町の見解を伺います。</p>		
	2. 「COCOLOプラン～誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策～」を受けての不登校支援の推進について		
<p>全国の小中学校で不登校の児童生徒数が急増し約30万人となる中、文部科学省は令和5年3月31日に、誰一人取り残されない学びの保障を社会全体で実現していくとの「COCOLOプラン」を発表しました。</p>			

不登校の子どもを支援していくうえで、その保護者を支援していくことは重要であり不登校の子どもの「保護者の会」は非常に重要な役割を果たしています。しかし現状では行政からの支援はなく意欲ある保護者が自主的に設置しているため「保護者の会」の設置は地域によって状況が様々です。

そういった状況を受けて今回の「COCOLOプラン」では「スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが関係機関等と連携して保護者を支援する」と明記されました。そこで伺います。

(1) 寄居町においても教育委員会が不登校の子どもの保護者であれば誰でも自由に参加できる「保護者の会」を設置しそこにスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーをコーディネーター役として派遣し、不登校の子どもの保護者を支援していくことが必要だと思いますが「COCOLOプラン」を受けての今後の寄居町での取り組みについて伺います。

(2) 不登校の児童生徒は一人一人の状況が大きく異なるため丁寧な指導を行い多様な学びの場の確保や指導体制を整備することが必要となってきます。しかし自宅やスペシャルサポートルーム、教育支援センター等、不登校の生徒の多様な学びの場が拡大している中でそういった場での学びが学習成果として評価されず、調査書（内申書）の成績がつかず不登校の生徒の高校進学を選択が制限されているという問題もあります。この問題を受けて今回の「COCOLOプラン」では自宅やスペシャルサポートルーム等また教育支援センターでの学びの結果が成績に反映されるようにすると明記されました。

そこで今回の国の「COCOLOプラン」で示されたように不登校の生徒の高校進学を支援するため自宅やスペシャルサポートルーム・教育支援センター等での学びを確実に学校での成績に反映させることが重要だと思いますが、寄居町内の中学校における現在の状況と今後の取り組みについて伺います。

議席番号	15	議員氏名	原口 孝
項目・要旨	1. デマンド交通について		
	<p>町においてはデマンドタクシーが実施されており、データ収集もあり利用者の多様なニーズに対応すべく、利便性の向上を目標としています。しかし数年後には団塊の世代と言われる方々が全員75歳以上になり、更なる高齢化が進み、買い物難民の防止や高齢者福祉のため、重要な取り組みと考えています。将来への不安の解消と「住みよい・暮らしやすい・安心する」町づくりには更なる利便性の向上を推進する必要があります。そこで次の3点について伺います。</p> <p>(1) 利便性・必要性の観点から町外医療機関への利用を取り入れ、行き帰りの担保ができる運営をすべきであり、その点に取り組む考えはあるのか伺います。</p> <p>(2) 町内デマンドタクシー利用にあたり、行きの予約はできても帰りは難しく、デマンドタクシーが使えず費用がかかってしまうという声が聞かれます。その解消方法はデータ等による分析結果を用いて整理できたのか伺います。</p> <p>(3) 循環型デマンド交通の新たな取り組みと現在のデマンドタクシーのダブルスタンダード（二重の基準）を取り入れることにより、更なる利用者へのニーズに応えられるのではないかと考えます。町の考えを伺います。</p>		
	2. 図書館運営について		
	<p>議会だよりの取材で、町には書店も無くなり高校生の方から「残念です」と言われました。しかし、図書館運営においては、移動図書館等を始め様々な取り組みにおいて町民のニーズに即した充実を図る努力をしていることはいかがえませんが、利用者の利便性を高める必要があるのではないかと考えます。そこで伺います。</p> <p>(1) メアリーズビル市との地域間交流を通して新たな創出ができたことは何でしたか、また、その反響はどうでしたか、伺います。</p> <p>(2) 寄居町は小田原市・八王子市と姉妹都市を結んでいます。議会においては小田原市・八王子市・日光市と二宮尊徳（たかのり）の関係により3市1町での交流を行っています。今年度は11月に日光市で開催され、来年度は寄居町での開催が予定されておりますが、二宮尊徳の展示コーナーを設ける方向性はあるのか伺います。</p> <p>(3) 図書館での聞き取りでは、10人中10人が暗いと利用者の声を聞きました。LEDへの改修等の予定はあるのか伺います。</p> <p>(4) 寄居町総合振興計画後期基本計画での目標、貸出点数は265,000点とありますが、約1年9カ月が過ぎた現在の貸出点数を伺います。</p>		

### 3. 寄居ブランド創出について

今年度予算にも新たな町の特産品づくりの支援が計上されています。難しい課題も多く、また6次産業化の取り組みは活発ではないと思われます。発想の転換で「何をつくり・商品化して・販路をどうするか・どうしたら売れるか」を考え商品開発を行うべきであります。そして、予算を計上し実験することが必要であり、結果がどうであれ、物を作るということは成功も失敗もありますが、進めなければ結果は空想に終わります。例えば「寄居幻の芋焼酎」を作り、農家の方に原料の芋を栽培していただく、予算をつけ協力していただく、酒造は委託でお願いし、販売のみ町民の協力をお願いする。ブランドは町民の理解と協力があってできるものと考えます。そこで伺います。

- (1) このようなブランド創出を目標とした「チャレンジ予算」を考えるべきと思いますが、町の考えを伺います。
- (2) ブランドは新たなものだけでなく、現在流通している商品のイノベーションにより大きく成長させることができると考えますが、町の考えを伺います。

議席番号	5	議員氏名	久保 鷹矢
項目・要旨	1. 寄居町公式LINEの検討状況について		
	<p>以前の議会で質問がありました寄居町公式LINEアカウントについてお伺いします。LINEは日本国内の利用者数が多く、広い年代が活用しているSNSです。他の自治体を見ても導入例は多く、様々な用途で利用されておりLINEの特性上、地域コミュニティに相性の良いSNSだと考えております。その一方、セキュリティ問題が多く取り上げられており自治体として導入しづらい側面も残ります。以上を踏まえ伺います。</p> <p>(1) 現在の検討状況について伺います。</p> <p>(2) 用途について寄居町ではどの分野に活用できるか考えを伺います。</p> <p>(3) LINE開設した場合、経費、業務量にどのような効果、影響が出るか考えを伺います。</p>		
	2. 各世代に対応したデジタル教育推進の必要性		
	<p>「誰一人取り残さない」デジタル化推進のために幅広い年代に対し、勉強する機会を用意することが必要だと考えます。寄居町には総務省による「デジタル活用支援推進事業」による講習会実施団体は2団体ありますが、講習会の開催予定などは今のところ掲載されておりません。当事業を活用し役所内や公民館などで講習会を行っている自治体もあり、寄居町でも検討の必要性があると考えます。また、当事業はスマートフォン向けの内容となっており、他のデジタル機器の講習会などは別途独自の施策として検討する必要があると考えます。そこで伺います。</p> <p>(1) 各年代に応じたデジタル教育の必要性についての考えを伺います。</p> <p>(2) 「デジタル活用支援推進事業」の活用についての検討状況を伺います。</p> <p>(3) 町独自でデジタル機器や生成AI、ChatGPTなどの最新デジタル技術を学べる講習会開催などの考えを伺います。</p>		
3. 寄居町デジタル化推進計画について			
<p>デジタル化推進において、組織全体のITリテラシー向上が必須だと考えます。寄居町デジタル化推進計画より「基本目標4 デジタル人材育成」について伺います。</p> <p>(1) 職員スキルアップのための研修内容について伺います。</p> <p>(2) 研修の受講頻度について伺います。</p> <p>(3) 研修機会が個々の判断になるとデジタルデバインドが起きるリスクが想像されますが現状について伺います。</p> <p>(4) 寄居町デジタル化推進委員会の構成員に対し、研修などがあるか伺います。</p>			